

地域共生社会の実現

町は、誰もが安心して暮らすことができるよう、行政、関係機関、地域住民がお互いに支え合い、助け合いながら暮らししていくことができる地域共生社会の構築に努めています。



オレンジカフェ



認知症サポーター養成上級講座



げんきファーム



障がい者就労支援(ワークホーム・アップル)



地域包括 ケアシステムの構築

今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症対策として、認知症サポーター養成上級講座を終了したスタッフなどが運営するオレンジカフェを行なっています。また、外出時に現在地が分かるGPS端末の貸出し、見守りネットワークなど、本人や家族

が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるよう、さまざま取り組みを行っています。

高齢者の筋力アップを図り、お達者度の向上を目的として、町と小山町健康づくり推進協議会が協働で制作した町オリジナル介護予防体操「元気だらあ体操」などを行っています。また、健診のデータ分析などにより、健康課題（ハイリスク）や認知機能の低下などを把握できた人に対して、生活状

態に着目し、低栄養防止・重症化予防の啓発、重複投薬者・健康状態が不明な人への保健指導、認知症初期集中支援チームによる訪問など、各種専門職による的確な個別支援を行っています。

障がい者の就労支援 サービスの提供

障がいをお持ちで一般就労が難しい人に、支援を受けながら働く場所を提供しています。知識や能力向上の機会を提供する就労継続支援事業所を支援し、地域で生活できるように関係団体と連携しています。



民生委員によるスポーツ体験会

その他、暮らしなんでも相談、ココロの健康相談、障がい者・高齢者介護に関する相談、生活困窮者自立相談、法律相談、心配ごと相談、人権相談などさまざまな相談窓口を設置しています。

町は、社会福祉協議会や地域包括支援センターとともに、町民のさまざまな困りごとやニーズに対応する相談・支援体制を整えています。

その他、暮らしなんでも相談、ココロの健康相談、障がい者・高齢者介護に関する相談、生活困窮者自立相談、法律相談、心配ごと相談、人権相談などさまざまな相談窓口を設置しています。

さまざまな相談の実施

町は、社会福祉協議会や地域包括支援センターとともに、町民のさまざまな困りごとやニーズに対応する相談・支援体制を整えています。

その他、暮らしなんでも相談、ココロの健康相談、障がい者・高齢者介護に関する相談、生活困窮者自立相談、法律相談、心配ごと相談、人権相談などさまざまな相談窓口を設置しています。

町内にある公民館や町の施設などを利用して、体操やおしゃべり、スポーツ、レクリエーションなどを楽しむさまざまな交流の場を提供しています。

障がいの有無や年齢に関係なく、誰でも立ち寄ることができる高齢者の居場所を増やし、閉じこもりがちな高齢者への参加を呼びかけています。

高齢者の交流の場

町内にある公民館や町の施設などを利用して、体操やおしゃべり、スポーツ、レクリエーションなどを楽しむさまざまな交流の場を提供しています。

障がいの有無や年齢に関係なく、誰でも立ち寄ることができる高齢者の居場所を増やし、閉じこもりがちな高齢者への参加を呼びかけています。



はつらつ元気サポーター

地域活動の担い手確保



なごみの会